

学校教育目標	◎すすんです子 ○健康な子 ○考える子 ○協力する子	【目指す学校像】	子供一人一人の『幸せ』を具現化する学校+教職員一人一人の『働きがい』を具現化する学校
		【目指す児童・生徒像】	どの共同体でも力を発揮できる子(2030年の日本で生きる子供たちへ)
		【目指す教師像】	教育者としての熱意とスキルを併せ持つ教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	主体的な学びの喜びを通して、児童・教師が「光華遊学」の成果を実感する	「協働的な学び」の具現化	・体験型学習の充実 ・主体性を引き出す課題の提示 ・対話的な学びの充実	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	4	4   90%以上の児童が話し合いにすすんで参加していると回答 3   80%以上の児童が話し合いにすすんで参加していると回答 2   70%以上の児童が話し合いにすすんで参加していると回答 1   60%以上の児童が話し合いにすすんで参加していると回答	2	体験型および課題解決学習の頻度は高いが、発言については意欲の二極化が見られる。	A	全学習の中で、ホワイトボード等、特に対話につながる学習ツールの活用を検討していく。	
		「個別最適な学び」の具現化	・ICTの活用スキル向上 ・個に応じた学習方法の保証 ・個に応じた学習評価の工夫	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	4	4   90%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答 3   80%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答 2   70%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答 1   60%以上の児童が授業にすすんで参加していると回答	4	個別最適な学びの推進もあり、個々の学習意欲は高い傾向が続く。	B	本年度施行した新たな学びのスタイルを継続、児童の視点で学習意欲を喚起し続ける。	
		「考え方のルーティン」の共有化	・「打ち付け」学習の保証 ・熟慮する学習の保証 ・意図的に既習を活用する学習の保証	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	4	4   90%以上の児童が授業がわかりやすいと回答 3   80%以上の児童が授業がわかりやすいと回答 2   70%以上の児童が授業がわかりやすいと回答 1   60%以上の児童が授業がわかりやすいと回答	4	授業中の理解度は高い。課題は基礎的な知識の定着である。	A	昨年度比較で学力調査が向上した項目が多く評価したい。家庭学習の大切さを重視したい。	
豊かな心	多様な見方・考え方を働かせ、自ら楽しさ(ワクワク・ドキドキ)を見出し出す心のけを身に付ける	多様性を認め合う心の醸成	・聞く力・態度の育成 ・特別支援教育への理解 ・人権感覚の育成	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	4	4   90%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 3   80%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 2   70%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 1   60%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答	4	日常的にも自他を大切にしている児童は多い。多様性の相互承認を推進する。	B	今後多様性の相互承認を人権教育の基盤とし、校内外のリソースを活用していく。	
		感性を豊かにする教育の充実	・読書活動の充実 ・芸術的感性への刺激 ・自然・栽培体験の充実	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	4	4   90%以上の児童が「本や絵や音楽、自然が好きです」と回答 3   80%以上の児童が「本や絵や音楽、自然が好きです」と回答 2   70%以上の児童が「本や絵や音楽、自然が好きです」と回答 1   60%以上の児童が「本や絵や音楽、自然が好きです」と回答	3	読書においては習慣化の二極化、読書分野の片寄が課題である。	A	読書週間を起点に全校的な取組の工夫を図っていききたい。	
		最後まであきらめない心(レジリエンス)の醸成	・児童主体の活動保証 ・形成的評価の充実 ・継続的な活動の工夫	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	3	4   90%以上の児童が「決めたことは最後まで頑張りたい」と回答 3   80%以上の児童が「決めたことは最後まで頑張りたい」と回答 2   70%以上の児童が「決めたことは最後まで頑張りたい」と回答 1   60%以上の児童が「決めたことは最後まで頑張りたい」と回答	3	児童主体の活動がレジリエンスの育成につながるかは検証が必要。	A	レジリエンスの育成は一朝一夕ではできないものなので、今後も意図的な継続を続けていく。	
健やかな体	自らの健康を保持・増進する生活習慣の定着	体を動かす喜びの実感	・体育の授業改善 ・元氣アップガイドブック活用 ・体育朝会の活用	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	3	4   90%以上の児童が「休み時間や体育で遊んだり体を動かしている」と回答 3   80%以上の児童が「休み時間や体育で遊んだり体を動かしている」と回答 2   70%以上の児童が「休み時間や体育で遊んだり体を動かしている」と回答 1   60%以上の児童が「休み時間や体育で遊んだり体を動かしている」と回答	2	保護者啓発も含めて、活動の周知が弱い。「遊び」を中心とした実働は増えている	A	自由な遊びを中心としつつ、計画的で統率された活動も増やしていく。	
		生活習慣の改善	・GM60の推進 ・SNSルールの推進 ・食育の推進	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	4	4   90%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 3   80%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 2   70%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 1   60%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答	3	活動が日常化している分、情性に流れている。インパクトある取組に変えていく。	A	朝、校庭で遊ぶ児童の笑顔が輝く。江戸野菜等の食育やSNSルールの指導は是非継続を。	
		自他の「性・生命」の尊重	・いじめ防止の推進 ・安全(交通・生活・災害)教育の推進 ・SOSの出し方教育推進	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	4	4   90%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答 3   80%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答 2   70%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答 1   60%以上の児童が「学校で落ち着いて安心して生活している」と回答	4	高評価に甘んじることなく、少数でも不安をもつ児童に寄り添っていく。	A	いじめ等は早期発見と禍根を残さない指導を。児童がいつでも相談できる体制に注目していきたい。	
輝く未来	非認知能力の育成	「自己有用感」の向上 ※次の目標 「自己肯定感」の向上	・「あいさつ」の推奨 ・反応、返信の推奨 ・特別活動(係、委員会活動等)の形成的評価	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	3	4   90%以上の児童が「先生や友達、自分のことをよく考えている」と回答 3   80%以上の児童が「先生や友達、自分のことをよく考えている」と回答 2   70%以上の児童が「先生や友達、自分のことをよく考えている」と回答 1   60%以上の児童が「先生や友達、自分のことをよく考えている」と回答	3	自己有用感の育成を目標にしたが、明確な活動ができなかったと反省する	A	挨拶の定着に向けたことが主体的に活動したことはすばらしい。どの委員会も主体的な活動を期待したい。	
		他者や地域と「つながる」喜びの実感	・外部人材の活用 ・行事への主体的な参加 ・自ら企画する機会の保証	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	4	4   90%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 3   80%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 2   70%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 1   60%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答	3	人との交流は多かったが、地域行事と関わる機会が少なかった。	A	PTA、地区委員会、青少年委員の活動を対象に、より積極的な連携を図る。	
		自己を見つめる力の醸成	・キャリアアルバムの活用 ・道徳の授業改善 ・学習の自己評価活動	4   概ね3項目に取り組むことができた 3   概ね2項目に取り組むことができた 2   概ね1項目に取り組むことができた 1   全く取り組めなかった	3	4   90%以上の児童が「今の自分や、将来の自分を考えることがある」と回答 3   80%以上の児童が「今の自分や、将来の自分を考えることがある」と回答 2   70%以上の児童が「今の自分や、将来の自分を考えることがある」と回答 1   60%以上の児童が「今の自分や、将来の自分を考えることがある」と回答	2	キャリアアルバムの活用は定着したが、自己を見つめる意識につながっていないことが課題。	B	キャリアアルバムの内容を子供が真に理解しているか。道徳の授業がよかった。研究発表の教訓を明確に。	